

ご挨拶



金沢大学法経文学部同窓会

会長 西田 直樹

金沢大学法経文学部同窓会会報第15号を皆様にお送りさせて頂くに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、昨年、地元石川県では1月の能登半島地震、9月の奥能登豪雨といった甚大な自然災害が発生しました。特に奥能登地域では、豪雨災害により漸く進み始めた被災地の復旧・復興に向けた歩みが妨げられることとなりました。改めて、被災された皆様並びにご家族の皆様にお見舞い申し上げます。私は、東日本大震災からの復旧・復興支援に当時行政官の一人として携わってきましたが、その際、自然災害への対応については、国及び都道府県による迅速なプッシュ型支援が何よりも重要であることを実感しました。石川県にとって二つの災害からの復旧・復興支援が最重要かつ最優先の地域課題であると認識しています。県民の一人として被災地の日も早い復旧・復興を切に願っております。

母校金沢大学では、能登半島地震の発生直後に災害対策本部を設置し、DMA Tや付属病院による医療支援、学生ボランティアによる被災地支援をはじめとする支援活動が行われてきており、また、被災地の復興に資することを目的に「能登里山里海未来創造センター」を設置するなど、大学挙げての復旧・復興支援の取組みが進められています。同窓生の一人として、こうした活動に対して心より敬意を表したいと思います。

さて、金沢大学では、昨年11月に毎年恒例のホームカミングデイが開催されました。和田学長から金沢大学未来ビジョン『志』に基づく社会貢献として、独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充、国際社会の中核的リーダーたる金沢大学ブランド人材の輩出、人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現に係る取組み状況についてご報告があり、様々な取組みが積極的・継続的に進められていると感じました。また、和田学長からは、前述の金沢大学の災害対応についても併せてご報告がありました。

当同窓会としては、本年は全国総会がございませんが、役員会や理事会において大学の取組みを見守りながら、必要に応じできる限りのサポートを行ってまいりたいと考えております。皆様におかれては、今後も引き続き当同窓会の活動にご協力頂くとともに、被災地の復旧・復興を暖かく見守り続けて頂ければ幸いです。

第15号

目次

1 ご挨拶

2 本部の活動状況

主な活動一覧・OBゴルフ大会
 理事会・全国総会 ほか

4 役員名簿

5 各支部の活動報告

東京支部・関西支部・名古屋支部・福井支部・富山支部

10 期別同窓会の開催報告

11 会報誌発行協力金 ご入金ご芳名

12 金沢大学からのお知らせ

本部の活動状況

同窓会の主な活動一覧

令和6年度の主な活動 <報告>

5月26日(日) 名古屋支部総会
 6月29日(土) 第84回法経文OBゴルフ会
 7月13日(土) 全国総会
 7月20日(土) 福井支部総会
 9月28日(土) 東京支部総会
 10月12日(土) 関西支部総会
 10月26日(土) 第85回法経文OBゴルフ会
 11月2日(土) 第18回ホームカミングディ
 11月12日(火) 富山支部総会

令和7年度の主な活動 <予定>

6月15日(日) 名古屋支部総会
 6月22日(日) 第86回法経文OBゴルフ会
 7月4日(金) 理事会
 9月13日(土) 東京支部総会
 10月18日(土) 関西支部総会
 10月19日(日) 第87回法経文OBゴルフ会
 11月1日(土) 第19回ホームカミングディ

「金沢大学基金」へ寄付を行いました

令和6年1月1日の能登半島地震により、被災された学生の支援と被害を受けた教育研究施設（環日本海域環境研究センター臨海実験施設、能登海洋水産センター）の復旧に役立てていただくため、3月に「金沢大学被災学生・施設支援等基金」へ100万円の寄付を行いました（詳細は前号に掲載）。

引き続き7月には「金沢大学基金」に対して100万円の寄付を行い、全国総会・懇親会の席で、西田会長から三浦副学長へ目録をお渡しし、大学から当同窓会に対し感謝状をいただきました。金沢大学基金への寄付は今回で5回目となります。

金沢大学が目指す「地域に愛され、世界で輝く金沢大学」を実現すべく、学生修学支援、教育・研究環境の向上、国際交流活動、地域・社会貢献活動など幅広く大学全般への支援のお役に立てればと思います。

なお、当基金の詳細は金沢大学基金Webサイト（<https://kikin.adm.kanazawa-u.ac.jp/kikin/>）をご覧ください。



法経文OBゴルフ大会

第84回大会

第84回法経文OBゴルフ大会が令和6年6月29日(土)、小松市のゴルフクラブツインフィールズダイヤモンドコースで開催されました。

梅雨の最中に奇跡的な快晴に恵まれ、安宅同窓会長も含め、OB・OG16名が参加しました。

好スコアが続出する熱戦の中、ダブルペリアに恵まれた堀勘四郎さん（文24期）が、見事初優勝を果たしました。



優勝の堀さん



第85回大会

第85回法経文OBゴルフ大会が令和6年10月26日(土)、小松市のゴルフクラブツインフィールズゴールドコースで開催されました。OB・OG10名が参加し、好天の下、熱戦を繰り広げました。

1打差以内に上位7人がひしめき、しかもトップ同スコアが3人という大混戦の中、年長者上位という同窓会ルールにより、今回もダブルペリアに恵まれた堀勘四郎さん（文24期）が、見事連覇を果たしました。

（鮎谷義博 記）

令和6年度理事会、全国総会・懇親会

令和6年度理事会、全国総会・懇親会は、7月13日（金）、金沢のホテル日航金沢で行われました。

「理事会」では、令和5年度の活動と決算、令和6年度の活動予定と予算案の承認の後、役員改選について話し合い、新会長に副会長から西田直樹氏（法・30期）が、副会長に飴谷義博氏（法・29期）、水洞幸夫氏（文・30期）、鳥越伸博氏（経・30期）、蔵大介氏（法・32期）（以上、再任）、加藤真一氏（法・34期）（新任）が推薦されました。

続く「全国総会」では、令和4年度、5年度の活動と決算、金沢大学への寄付について報告し、役員改選について承認されました。

理事会、全国総会の後、西田直樹新会長（元財務省北陸財務局長）による講演に移り、「地域金融行政の歩み」と題して、地域密着型金融の推進を通じて地域経済活性化に取り組んでこられた経緯を踏まえ、今後、地域金融機関が持続可能なビジネスモデルを構築するために取り組むべき課題について提言いただきました。

続く「懇親会」には、大学から三浦副学長、山本人間社会学域長、堀田人文学類長、合田法学類長、星野経済学類長、高橋地域創造学類長、中野国際学類長、松村学友支援室長にご臨席賜り、第6回卒の佐々木さんから第72回卒の長谷川さんまで幅広い年代にわたる総勢73名の同窓生の皆さんにご参加いただきました。ともに金沢大学卒でひがし茶屋街の芸妓である唐子さん、佳丸さんのお2人による篠笛の演奏で厳かに始まり、参加者全員による金沢大学校歌の斉唱、西田新会長の挨拶、金沢大学人間社会学域長の山本様の乾杯の後、幅広い年代で懇親を深めました。最後は恒例の四高寮歌・北の都を声高らかに歌って2年後の再会を誓い、盛会の内に締めくくりました。



また、有志でひがし茶屋街の「八しげ」さんで2次会を行い、なかなか入る機会のない金沢のお茶屋の雰囲気を楽しみました。



石川県大学OB対抗ゴルフ大会で優勝！

令和7年3月22日（土）に開催された「第28回石川県大学OB対抗ゴルフ大会」において、金沢大学チーム（法経文同窓会チーム）が見事優勝を果たしました。

今まで最下位争いで、全く予想していませんでしたが、ダブルペリアに驚異的に恵まれました。

なお、参加者は以下のとおりです。

桶屋幸蔵さん（法21期）、堀勘四郎さん（文24期）、山下修二さん（法27期）、釜谷秀治さん（法37期）
表 徳宏さん（経39期）、佃 祝明さん（経39期）、寺井尚孝さん（経41期）、新田哲也さん（経41期）



金沢大学法経文学部同窓会 役員名簿

(2025年4月1日現在)

顧問	和田 隆志 (金沢大学長)	安宅 建樹 (法21期)
会長	西田 直樹 (法30期)	
副会長	飴谷 義博 (法29期)	水洞 幸夫 (文30期)
	鳥越 伸博 (経30期)	藏 大介 (法32期)
	加藤 真一 (法34期)	
東京支部長	山内 雅喜 (文32期)	関西支部長 森 恵一 (法28期)
名古屋支部長	上野 健 (経23期)	福井支部長 村田 治夫 (法25期)
富山支部長	松田 光司 (経33期)	
事務局長	田中 政憲 (法41期)	
監査役	後出 博敏 (経16期)	
相談役	山本 卓 (人間社会学域長)	堀田 優子 (人文学類長)
	合田 篤子 (法学類長)	星野 伸明 (経済学類長)
	高橋 涼子 (地域創造学類長)	中野 涼子 (国際学類長)
	小島 治幸 (人間社会環境研究科長)	足立 英彦 (法学研究科長)

“オール金沢大学”で、能登の復興と支援に取り組む 「能登里山里海未来創造センター」

令和6年1月30日、金沢大学は、令和6年能登半島地震により大きな被害を受けた能登地域の復旧・復興の推進に寄与するため、「能登里山里海未来創造センター」を設置しました。発災直後の超急性期から、創造的復興に向けた構想の立案や調整を行う「里山里海創造WG」を核として、研究、こころのケア、医療、教育、ボランティアを担う5つのチームに多くの教職員や学生が参画し、“オール金沢大学”で活動してきました。

令和7年4月、センターを「企画・渉外」「教育」「研究」を担う3部門に再編し、特に「ひとづくり部門」では、全学生を対象に、復旧・復興と防災・減災に貢献できる高度な専門人材を育成する「防災・復興人材特別プログラム」を開始しました。「まち・なりわいづくり部門」にも学内から多くの研究者が参画しています。3つの部門が協働して、引き続き“オール金沢大学”で能登の創造的復興に向けて取り組んでいきます。



船舶「あおさぎ」での海洋調査



学生による輪島市でのボランティア活動



能登里山里海未来創造センター

Noto Resilience and Revitalization Center



Webサイト

各支部の活動報告

東京支部

支部長 山内 雅喜

活動報告

令和6年の総会・懇親会は、9月28日（土）、「アルカディア市ヶ谷」で開催されました。和田学長、三浦副学長をはじめ、本部役員、各支部役員のご来賓をお招きし、昨年より23名増加の計102名が参加しました。

全学合同講演会では「クロネコヤマトの満足創造経営+2024年問題」と題し、ヤマトホールディングス参与で新支部長の山内雅喜氏が講演。懇親会では大学歌斉唱や交流が行われ、最後に能登震災支援金10万円を学長へ献呈し、閉会しました。



1. 関東同窓会総会等の開催予定（会員には別途ご案内）

- (1) 場 所： 昨年同様「アルカディア市ヶ谷（私学会館）」
- (2) 総会日時： 令和7年9月13日（土）午後3時～
- (3) 全学合同講演会及び懇親会： 総会后順次開催

2. 役員交代

東京支部規則第5条3項に基づき、新支部長には山内雅喜氏、副支部長には村杉靖男氏（再）、平出一栄氏（再）、井口眞氏（新）、事務局長には清水慎悟氏（新）が選任されました。また、前支部長の中田好昭氏は顧問に就任、事務局にも新しいメンバーが加わり、同窓会活動の今後より一層の活性化を行う予定です。

3. 北の都会 月例会の開催

毎月1回、12時から銀座ライオン（新橋店）で開催。本年2月8日開催の第863回では、矢澤昇治講師による演題「ハンセン病患者の隔離に反対した小笠原登医師と3名の人物」について、3月6日開催の第864回では志村恵講師による演題「金沢大学の国際化について－SGU事業（2014-2023年度）とその後の展開－」について卓話が行われました。

なお、4月以降は、4月5日（土）、5月8日（木）、6月5日（木）、7月4日（金）に開催予定です。

参加希望者は準備の都合上、事前に田中幹事までご連絡をお願いします。（田中幹事携帯：090-9827-1161）

4. 東京支部役員と若手会員との意見交換交流会

工業会と合同で若手の卒業生が集まる会を3回開催しました。今後も定期開催予定です。

（事務局 記）



東京支部 連絡先

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目2-1

日本橋室町三井タワー5階 5-A 金沢大学東京事務所内

Tel. 03-5202-4522 Fax. 03-5202-4522

事務局長 清水慎悟 (E-mail: shingo.shimizu@trifusion.jp)

各支部の活動報告

関西支部

支部長 森 恵一

昨年は1月1日に能登半島地震が発生しましたが、さらに9月に豪雨災害がありました。自然災害が能登地方で連続して発生したため、被災地の復旧、復興の大きな障害となりました。金沢大学における取組については、広報誌アカンサスなどにでも報告されています。一日も早く復興がされることを祈念いたします。

令和6年度は昼の時間に開催

令和6年は10月12日（土）午後1時から、ホテル阪急レスパイア大阪にて、支部総会を開催しました。これまでと違った試みとして、開催時間を昼の時間帯にしました。また開催場所が変更となったのは、これまでの大阪新阪急ホテルを利用することができなくなったため、同じグループのホテルを利用させていただきました。



当日は、関西支部総会にご来賓として、大学からは、三浦副学長、山本人間社会学域長、松村基金・学友支援室長にご出席いただき、また、本部同窓会からは鳥越副会長におこしいただきました。そして支部からは、東京、名古屋、福井、富山（代理出席）の各支部長に、金沢十全同窓会からは橋本大阪支部長にご出席いただきました。心より御礼申し上げます。

本年令和7年は10月18日に開催する予定

本年は10月18日（土）午後3時30分から、支部総会を予定しております。場所はホテル阪急インターナショナルになります。昨年とは違いますが、同じグループのホテルです。

また、関西支部では、2年に1回、金沢工業会近畿支部と合同開催として懇親会を執り行っております。今年は、合同開催の年に当たります。現在、金沢工業会とも打ち合わせを行っているところです。是非合同講演会、懇親会にもご参加いただければ幸いです。

大阪・関西万博もどうぞいらっしやいませ

4月13日から10月13日まで大阪市此花区にある夢洲^{ゆめしま}で、大阪・関西万博が開催されます。いろいろな報道がされていますが、前回大阪で開催された1970年の万博からは55年ぶりということです。そのテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」です。これはいいかえればSDGsということです。皆様も機会を見つけていただき、ご来阪いただき、関西・大阪万博にいらっしやってみてはいかがでしょうか。

また、従来からの課題である支部の活性化、幅広い世代による同窓会の運営について、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

なにとぞご理解とご協力をいただければ、幸いです。

（関西支部長 森 恵一 記）

関西支部 連絡先

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町623番地
第11長谷ビル9階 FVCアドバイザーズ株式会社 気付
Tel. 075-253-0501 Fax. 075-320-3521
幹事長 中山 淳 (E-mail: j-nakayama@fvc-ad.co.jp)

名古屋支部

支部長 上野 健

名古屋支部の紹介

名古屋支部は、令和6年5月26日（日）に名鉄グランドホテルで総会を開催しました。

昨年名古屋支部の総会は、星野経済学類長はじめ、本部役員、各支部役員7名のご来賓をお招きし、会員38名が参加し、盛大に開催しました。

総会では、ご来賓から、人間社会学域の近況と同窓会活動の現状の報告がありました。

その後、23年度の事業報告、会計監査、24年度の事業計画が報告され、全員の拍手でもって了承されました。

総会後の懇親会では、毎年恒例の「お楽しみ大抽選会」を行い、にぎやかで楽しいイベントとなりました。幹事の持ち寄った景品での抽選会なので、景品に限りがあり、当たった人は、笑み満面でした。

総会終了後に、総会参加者の約3割の会員の参加で、にぎやかな二次会を開催しました。

昨年度は、令和6年度 能登半島地震で被災された方々の支援のために、総会の参加者から義援金を募り、相応の金額を寄贈しました。

今年名古屋支部総会は、令和7年6月15日（日）午前11時より、名鉄グランドホテルにて開催します。今年も、若い会員に多く参加していただき、お楽しみ大抽選会等を行い、参加者全員に楽しんでもらえるような総会にしていきたいと思っております。

ところで、名古屋支部は、「兼六会」というゴルフ同好会を年2回ずつ開催しており、10月に第116回の大会を開催する予定です。これからも、このゴルフ同好会を続けていくことで、同窓会活動の発展につなげていきたいと思っております。

（名古屋支部長 上野 健 記）

令和7年度の名古屋支部の役員は、以下のとおりです。

支部長	上野 健	（23回卒 経）
副支部長	澤 健二	（33回卒 法）
幹事長	金子 卓也	（47回卒 経）
監事	宮澤 俊夫	（21回卒 法）
事務局	亀島徳太郎	（48回卒 文）

名古屋支部 連絡先

〒466-0059 名古屋市昭和区福江1-25-26

株式会社永和商事

Tel. 052-884-2805 Fax. 052-884-2817

支部長 上野 健 (E-mail: ueno@eiwasyoji.com)

各支部の活動報告

福井支部

支部長 村田 治夫

第28回総会開催報告

福井支部では、令和6年7月20日（土）に福井商工会議所コンベンションホールにて第28回福井支部総会を開催いたしました。

当日は、同窓生40名が出席したほか、大学本部、同窓会本部及び各支部、工業部会、医学部十全会から来賓の方々をお迎えし、同窓会の活動報告、決算報告などを行いました。

また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震で能登地方にある大学施設が被災したことから、福井支部一同から見舞金を贈呈しました。

総会では、福井市長 西行茂氏（第26回卒）が「大交流時代をいきる」と題して、北陸新幹線が令和6年3月16日に福井・敦賀に延伸したことに伴い、従来の関西圏・中部圏のみならず関東圏との結びつきが強まり、観光を中心とした地域活性化を図って行きたいとお話がありました。また、日本国内のみならず海外姉妹都市等とのつながりを深めて、海外との交流も深めて行きたいとお話されていました。



講演のあと、懇親会を行い、金沢大学校歌や四高寮歌を声高らかに歌うなど和やかな雰囲気でした。

福井県四高会からの寄贈

福井県には旧制四高卒業生を中心に福井県四高会が組織され活動していらっしゃいましたが、会員の高齢化に伴い福井県四高会を発展的に解散し、残余金を同窓会活動資金として金沢大学法経文学部同窓会福井支部に寄贈頂きました。諸先輩のご意思を尊重して、同窓会活動に活かして行きたいと考えております。

次回総会の開催

福井支部は2年毎に総会を開催することとしておりますので、次回総会は令和8年11月頃を予定しております。

（福井支部長 村田治夫 記）

福井支部 連絡先

〒910-0019 福井市春山1丁目3番23号

司法書士法人 高橋・浅井事務所

Tel. 0776-24-5985 Fax. 0776-24-2195

幹事長 浅井正勝（E-mail: azai@ta-shihou.co.jp）

富山支部

支部長 松田 光司

秋に時期を変更して盛会に開催

富山支部では、これまで隔年で2月前後に総会・懇親会を開催してきましたが、先の世話人会で気候の穏やかな時期に開催時期を変更することを決定し、令和6（2024）年11月12日、オックスカナルパークホテル富山において、「金沢大学法経文同窓会 富山支部総会・講演会・懇親会」を開催しました。

ご来賓として 金沢大学の三浦副学長、法経文学部同窓会の水洞副会長をはじめ、東京・関西・名古屋・福井の各支部、金沢工業会富山支部の皆さまにもご出席いただき、総勢114名の会員が集う盛会となりました。

総会では、定例の活動報告や会計報告に加え、「令和6年能登半島地震」により母校の学生や教職員の方々が被災し、能登地域に所在する施設をはじめとした多くの施設・設備が被害を受けたことから、「金沢大学被災学生・施設支援等基金」へ見舞金として20万円を大学へ寄付することが承認されました。

講演の部では、時事通信社・片山哲也富山支局長（教育学部40回卒）から「犀川のほとりで考えたこと」のテーマで、通信社での海外勤務（カイロ、ニューヨーク、ロンドン等）エピソードのほか、学生時代の犀川に纏わる当時の思い出等も交えながらご講演をいただき、聴衆の皆さまと懐旧の情を分かち合いました。

懇親会の部は、中谷支部長および三浦副学長の挨拶の後、金沢大学への寄附・見舞金の贈呈、水洞副会長のご発声による乾杯により会員の交流が始まりました。今回も幅広い年代の方々にご参加いただき、久しぶりの再会や同窓生の新たな交流が生まれた有意義な歓談の時間を過ごしました。最後は、次期支部長の松田世話人による中締めで閉会しました。



本総会を経て支部長ならびに事務局を交代しておりますが、富山支部の発展に向けて尽力いたしますので、引き続き、ご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

（事務局 記）

令和7（2025）年度役員

支部長 松田 光司（経 33 回）
世話人 川津 鉄三（経 37 回）
世話人 北中 喜貴（経 44 回）

富山支部 連絡先

〒933-0045 富山県高岡市本丸町8-34
株式会社富山県人社内
Tel. 0766-25-5211 Fax. 0766-26-2500
専務理事 高島 誠

期別同窓会の開催報告

法文学部 第11期関東地区同窓会（東京兼六イレブン会）

法文学部第11期関東地区同窓会（東京兼六イレブン会）が2025年3月21日、上野「がんこ」にて開催されました。以前は、銀座「がんこ」で開催していたのですが、新型コロナの影響か店を閉じてしまったようで、一昨年从上野に会場が変わりました。

今年は暑さ寒さも彼岸までの諺の通りお天気も良く、予定された7名が出席し開催されました。上野公園の桜には少し早かったようですが、彼岸桜は満開でした。

年齢も年齢ですから年々出席者が減る一方でしたが、15回目の今回は前回と同じ7名の出席で、ホッとしました。これ以上減らないことを祈るのみです。

北川昭久（以下敬称略）、澤頭靖利、南善明、柴田幹郎、松田晃一、森川秀雄、徳田智律の各氏が出席されました。

北川昭久氏の幹事挨拶と乾杯の音頭で始まり、順次近況を話しながら楽しく過ごし、あっという間に2時間が過ぎました。

3分間スピーチでの各人の近況をお聞きすると、各人各様ですが、この歳になると人生に対する諦観ができて、悠々自適の日々を謳歌している感があり、今日の日を存分に楽しんでいる人々です。

流石に出席できる人は日頃運動をしていて足腰を鍛えているようです。スポーツジムに通う人、毎日一万歩歩く人、テニスをする人、ゴルフをする人、自転車に乗る人、人それぞれですが、身体を使うよう努めていることは確かです。それに加え何かしらの趣味を楽しんでいることも確かです。俳句、詩吟、作文等々ですが、俳句の先生曰く、老人ホームでボランティアとして俳句を指導しているが、ホームに入ると、行き届いた待遇で、早めに老化が進む人が多いようなので、早々にホームへは入りたくないですね。

当面は九十歳まで生きることを目指しますとの決意を述べた方には同感でした。年に一度、こうして会えることを楽しみに己の健康を維持し、来年もと心に誓うのでした。

今回の2026年3月27日（金）、上野「がんこ」での再会を約束してお開きとなりました。

（徳田智律 記）



同窓会事務局からのお願い

▶ 単位同窓会からの寄稿を随時募集しています。

各地で、期別やサークルなどの同窓会を開かれた際は、事務局までお寄せください。お待ちしております。



住所変更届け

▶ 宛先不明で郵便物が戻ってくるケースが見受けられます。転居の際は左記QRコード、もしくは事務局アドレスまでご連絡ください。ホームページの「お問い合わせ」からもご連絡頂けます。



金沢大学 法経文学部同窓会 事務局
E-mail : houbun@circus.ocn.ne.jp

会報誌発行協力金ご入金ご芳名

(掲載ご了承分のみ、敬称略)

「法経文学部同窓会 会報誌」発行にあたり、会員の皆様にご協力をお願いしております。

前回以来、総勢248名の皆様から協力金のお振り込みをいただきました。(令和7年4月●日現在)

心より感謝申し上げますとともに、ご芳名をご紹介します、お礼にかえさせていただきます。 役員一同

卒回	氏名	卒回	氏名	卒回	氏名	卒回	氏名	卒回	氏名	卒回	氏名
法 2	川崎 俊雄	文12	森 恭子	経18	桐山 直泰	経23	折橋 與喜	経31	戸谷 和夫	経44	鈴木 良博
経 3	小林 秋弘	文12	南 勝美	経18	工藤 義憲	経23	上野 健	法31	角地 裕司	文45	金山 一成
経 4	松村 篤	文12	徳田 寿秋	経18	佐野 寿彦	法23	水落 徹男	経32	久保 順平	経46	三井 敏彦
経 4	櫻木 昌靖	文12	土田 博	経18	森野 誠一	法23	西 正紀	経32	竹川 直人	文46	今村 潤
法 4	松下 健	文12	北 実	経18	新宅 剛	経24	高畑 一郎	経32	中山 淳	法46	福本 知行
法 4	池田 良兼	文12	明壁 正毅	経18	赤羽根純明	経24	廣村 裕二	文32	山内 雅喜	法46	野上 明人
経 5	黒田 敏夫	法12	倉地 正英	経18	日高 和久	経24	小林 幸夫	法32	西川 克司	経47	鳥居 貴浩
経 5	太郎田 隆	法12	奥野江津子	法18	秋山 正己	法24	樫見由美子	法32	藏 大介	法47	小林 史正
経 6	大坪 常夫	法12	上田次兵衛	経19	大須賀 定	法24	後藤 正巳	経33	中澤 正樹	法48	新谷 博範
法 6	佐々木久美	経12	島田誠一郎	法19	竹生 幹夫	法25	村田 治夫	経33	和田 学	法49	犬塚 雅文
法 6	政木 武夫	経13	八田 龍造	経20	安藤 繁	法25	龍崎 正司	法33	中谷 仁	経49	石黒 優
文 7	山口 秀郎	文13	田坂 靖子	経20	遠藤 正典	経26	深澤 桂一	経35	松尾 匡	経50	山下 晋吾
法 8	浅野 俊彦	文13	高木 貫之	文20	芦野 順一	法26	上坂 功	経36	岸田 泰則	文50	小山内俊平
文 8	松本 隆夫	法13	松波 繁夫	法20	大平 文人	法27	山崎 康至	経36	福田 英司	法53	義本 正彦
経 9	井村 稔	法13	澤田 儀一	法20	渡辺謙太郎	法27	辻嶋 彰	法36	作田 豊	法53	中本 雄一
経 9	山本 富三	経14	南 雅雄	法20	南 外至久	経28	岩崎 守男	経37	坂田 昌隆	法53	土屋 健太
経10	村田紀代司	経14	木村 東正	経21	田中 良明	経28	別宗 博道	経37	川津 鉄三	法55	丸山 英樹
文10	藤村 延魚	経15	篠島 益夫	法21	桶屋 幸蔵	文28	広田 淳子	文37	向 茂美	法56	徳田 隆裕
法10	加藤 晴雄	経15	田渕 益男	法21	安宅 建樹	文28	武内 均	法37	森 英之	文58	小林安由子
法10	高島 誠	法15	松岡 良夫	法21	岡田 進	法28	伊代田誠二	経40	中村 孝治	法59	関根 裕基
法10	中川 了滋	経16	小林 道明	法21	大路 孝之	法28	森 恵一	経41	丸田 康央	経62	大友 俊弥
法10	西田 哲平	法16	村杉 靖男	法21	徳力 暁	経29	小林 正人	経41	寺井 尚孝	法65	杉浦 正規
経11	久米田 修	法16	藤森 茂樹	法21	柏田 感二	法29	丸橋 茂男	法41	田中 政憲	人68	基峰 修
経11	戸田 達夫	経17	寺田 茂雄	経22	恒川 泰孝	法19	伊藤 健一	経42	下濱 紀昭	人70	森田 弘美
経11	北川 邦昭	経17	久保 晋	経22	松縄 宏	経30	大橋 祐之	経43	岡本 修身		
経12	松井 敏治	経17	白井 礼	経22	木元 茂	経30	鳥越 伸博	法43	藤井 綾子		
経12	二口 信行	文17	石田 憲二	法22	渋谷 直之	文30	水洞 幸夫	文44	坊城 智信		
文12	井口 紀美	法17	油谷 哲	法22	中山 正隆	法30	延谷 良平	法44	合田 篤子		
文12	三益 隆一	経18	加藤 嘉彦	経23	横江 功好	法30	森田 豪	法44	太谷 信造		

会報誌発行協力金のお願い

いつも法経文学部同窓会に多大なご支援をいただき役員一同深く感謝申し上げます。

会報誌発行へのご協力をお願いして今回で13度目となりますが、多数の皆様からの一層のご協力をお願い申し上げます。一口2,000円からとなっております。同封の払込票をご利用下さい。

なお、ご協力いただいた皆様のお名前は、次号の「会報誌」で掲載させていただきます。



金沢大学からのお知らせ

第18回金沢大学ホームカミングデイを開催しました！



和田隆志学長による大学の近況報告



特別講演講師
元北陸財務局長 西田直樹氏



開会の挨拶を行う
安宅建樹学友会会長

令和6年11月2日(土)、本学角間キャンパスにおいて、第18回金沢大学ホームカミングデイを開催しました。200名の同窓生及びそのご家族等にご出席いただき、盛況な1日になりました。

歓迎式典では、最初に、本学合唱団が校歌を斉唱しました。続いて、^{わだたかし}和田隆志学長の歓迎挨拶と本学の近況報告、^{あたくたてき}安宅建樹金沢大学学友会会長からあいさつがありました。続いて、現役学生の現状について、学生の留学体験報告(1名)・大学院生の研究報告(1名)・課外活動体験報告(ヨット部・1名)を実施し、出席者からは好評をいただきました。



留学体験報告を行う学生

また、本年度は新たに若手研究者および卒業生の報告時間を設け、卒業生の活躍報



同窓生と懇親を深める現役学生



卒業から10年・20年を経過した方対象の
ランチ交流会

告として市立輪島病院長(昭和58年医学部卒業)の品川誠氏より、市立輪島病院における能登半島地震への対応について報告がありました。

特別講演では、元北陸財務局長で法経文学部同窓会会長の西田直樹氏(昭和57年法文学部卒業)に、「地域金融行政の歩みについて」と題してご講演いただきました。

さらに今年度は、若手同窓生に向けた新たな企画として、卒業から10年・20年を経過した方対象のランチ交流会を初開催し、参加者は卒業後久しぶりに再会する同期との交流を楽しんでいました。

次回、第19回金沢大学ホームカミングデイは、令和7年11月1日(土)に開催が決まりました。同期生・サークル仲間の皆様におかれましては、紅葉に染まる懐かしい母校にぜひお越しください。

編集後記

新緑の気持ちの良い季節です。

学生達も新たな気持ちで大学生活を謳歌して欲しいです。

能登は地震に豪雨と災難続きですが、少しずつ復興に向けて頑張っています、同窓生の皆様も応援よろしくお願いします。

(事務局)